

社会医療法人 緑社会
金田病院
 Kaneda Hospital
 ●みどり訪問看護ステーション
 ●指定居宅介護支援事業所みどり

公益財団法人
 日本医療機能評価機構認定病院
 公益社団法人 日本人間ドック学会
 人間ドック健診施設機能評価認定施設

〒719-3193 岡山県真庭市西原63
 TEL (0867) 52-1191(代)
 FAX (0867) 52-1917
<https://www.kaneda-hp.or.jp>



片頭痛をはじめとする頭痛医療の進歩



院長補佐
 脳神経外科部長
 みづぶち 雅之 医師

専門医資格
 頭痛専門医・指導医
 脳神経外科専門医・指導医
 救急科専門医
 脳卒中専門医
 認知症専門医・指導医

頭痛は、多くの方が経験する症状です。そしてほとんどの方が心配しているのは、脳の重大な病気によって急いで治療しなければ生命に危険が及ぶ二次性頭痛と呼ばれるものです。もう一つは画像検査でも異常は無く、頭痛とそれに伴う症状だけがずっと続く一二次性頭痛です。一二次性頭痛は生命に危険がないため軽視されますが、頭痛が続くと仕事や勉強、日常生活に影響を及ぼし、ご本人や周囲の方にとっては大きな問題となります。

代表的な頭痛には、「片頭痛」「緊張型頭痛」「群発頭痛」があります。当院に頭痛の症状で受診される半数の方が片頭痛で、年齢は10歳代の中高生の男女から30歳代の子育て世代の女性に多いです。40〜50歳代の片頭痛は持続的な痛みに変

わる「変容性片頭痛」と呼ばれるようになります。片頭痛の典型的な症状は、目の前がチカチカする前兆があり、その後拍動性頭痛となることです。このような「前兆のある片頭痛」は3割程度であり、前兆無く症状が出るこの方が実は多いのです。

医学の進歩と共に予防薬、頓挫薬が開発され、多くの方が片頭痛による辛さから解放されました。しかし2割の方には内服薬の効果が認められません。昨年の春、注射による予防薬が発売されたことにより、片頭痛の治療は大きく変化しました。内服の予防薬が効きにくい方に行う治療で、1ヶ月に1回注射を行うことで頭痛の回数が半分に、痛みの程度も半分以下になり、頓挫薬の内服も効きやすくなります。この注射には投与の適応基準があり、さらに投与する医師にも資格が必要です。岡山県北部では、当院が唯一の頭痛学会専門医が常勤医として在籍の医療機関です。

頭痛の種類、原因は多岐にわたるため、一連の確な診断、加療、投薬が必要です。同じ薬を使用しても合う、合わない等は一入ひとり異なるため、あきらめないことが大切です。頭痛でお悩みの方は、一度ご相談ください。

訪問看護について知ろう！

真庭高等学校 落合校地看護科2年生5名が、訪問看護の役割を紹介したポスターを作成されました。

同学科の「総合的な探求」の授業にて、当法人みどり訪問看護ステーション 所長 押目有紀看護師が、訪問看護についての講義を行いました。受講された生徒が、「訪問看護の役割を少しでも多くの方に知っていただきたい、できるだけ多くの方の生活の支えになってほしい」と自主的に取り組み作成したものです。ポスターは、当院含む地域の医療機関が所に掲示しています。

訪問看護について知ろう！

- 訪問看護とは？
看護師がご自宅に訪問して病気や状態に応じた看護を行うこと、健康の悪化防止や回復に向けてお手伝いさせていただきます。
- どんな看護をしてくれるのか
健康状態の確認、食生活の助言、療養生活の相談、アドバイス、リハビリテーション、医療機器など
- 訪問看護はどんな人が来てくれるのか
看護師、保健師、薬剤師、臨床検査技師など
必要に応じて、理学療法士、作業療法士、言語療法士が働きます。
- どんな人が受けられるのか
小児から高齢者、症状が軽くても重くても、訪問看護を必要とするすべての人が受けられます。

〒719-3193 岡山県真庭市西原63
TEL (0867) 52-1191(代) FAX (0867) 52-1917
https://www.kaneda-hp.or.jp

3月の金田病院外来診療日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

● 休日急患担当医(午前9時〜午後5時)
 ● 内科・外科当番日・小児は小児科医師が診療

□: 通常診療 □: 午前診療
 ■: 休診

令和4年の標語 「積み上げる 地域の信頼 一つずつ」

緑社会の理念
 金田病院の理念
 金田病院の基本方針

- 奉仕・仁愛・誠実・研鑽・調和
- 医療を通じて地域社会と職員の幸福に貢献します
- 安全で良質な医療を提供します
- 期待される役割を果たします
- 機能分化と連携を一層推進します
- 職員が笑顔で働ける病院を目指します

